

新型コロナウイルス感染症感染防止対策・熱中症防止対策 対応チェックシート

大会名			
開催日	年 月 日 ()	開催会場	
会場責任者	チーム	氏名	連絡先

- 会場入口や手洗い場に手指消毒用具（消毒剤・ハンドソープ・会場により水(※) など）を設置した
-
- 会場内に日陰（木陰・タープ設置など）をじゅうぶん確保するとともに、WBGT 計を設置した
-
- 参加チームから健康管理チェックシート（様式 3）の提出を受け、問題がないことを確認した
-
- 常に WBGT 計を確認しながら、適切に飲水タイムやクーリングブレイクの導入を図った
-
- 会場設営時及び終了時に、運営で使用する（or した）用具類の洗浄や消毒剤による消毒を行った
-
- 参加チームの指導者に対し、以下の項目について確認・指導した
- ・ チーム待機場所では日陰の確保や飲料水の用意など、チーム内でも熱中症対策を講じること
 - ・ チーム待機場所に体温計や手指消毒用具の用意など、チーム内でもウイルス感染対策を講じること
（水道が敷設されていない会場を利用する際は、チームでも手指洗浄用の水を用意すること）
 - ・ 選手の荷物は一定の間隔を空け一列に並べるなど、選手同士の不要な接触を避けること
 - ・ 選手の荷物（ゴミを含め）は常に自身のバッグ内に納めさせるなど、他者の荷物と混在させないこと
 - ・ 選手が持参したタオルや水筒などを他者と共用しないこと
 - ・ ウォーミングアップ及び試合時を除き、チーム内の全関係者がマスクを着用すること
 - ・ ウォーミングアップや休憩時などは、チーム内の選手に帽子を被るよう促すこと
 - ・ 選手・指導者ともに、握手やハイタッチなど、プレー以外での不要な接触を避けること
 - ・ 指導者・選手ともに、ベンチ内ではマスクを着用するとともに一定の間隔を空けて待機すること
 - ・ 試合前後の相手選手、審判員、相手ベンチへの近距離での挨拶は控えること
 - ・ 審判員や大会役員との会話は、一定の距離を保ちながら行うこと
 - ・ ベンチ裏等での控え選手のウォーミングアップは、他の選手と一定の距離を保ちながら行うこと
 - ・ 水筒を冷やす・まとめるなどを目的としたクーラーボックス類の共用を控えること
 - ・ 洗浄用など、水を溜めたバケツ類の共用を控えること
 - ・ 選手がピッチ内に唾やうがいを行った水を吐かないよう指導すること
 - ・ 観戦する保護者等に対し、マスクの着用、他の保護者とのじゅうぶんな距離の確保を促すこと
 - ・ 当日の日程を終えたら、速やかに帰宅すること

(※) 水道が敷設されていない会場を利用する際は、大会運営・参加チームの双方で手指洗浄用の水を用意すること

大会本部運営におけるお願い

大会運営本部では、試合前後の場面ごとに、参加者の密集や密接、並びに熱中症を避けるための策を講じるようにしてください。

<対応例>

※以下に示すもののほか、運営上必要と思われる事項は、大会ごとに追加・変更していただくなど、柔軟にご対応ください。

◆参加チームへの注意事項等の伝達について

- ・参加チームの代表者等を集めてのミーティングは控え、選手チェック等の際に必要な伝達を行う

◆選手チェックについて

- ・チームごとに選手チェックを行う時間を予め定めておく
- ・本部への挨拶は、チームの指導者（代表して1名）が受付と併せて行う程度とする
 - ※選手・指導者の全員が整列しての挨拶は控える
- ・チェックを受ける選手同士の距離（間隔）を十分に確保する
- ・チェックを受ける選手に対し、大きな声での挨拶や氏名・生年月日等の確認は控えるよう促す

◆コイントスや試合前後のセレモニー等について

- ・試合前の握手やハイタッチは、選手・審判員・指導者のいずれとも行わない
- ・試合前のコイントスは、主審及び対戦する両チームのキャプテンにより、試合開始の直前に行っておく
- ・ハーフウェイラインを中心にしての審判員・選手の整列によるセレモニーは行ってもよいが、握手等は行わない
 - ※同時に、対戦する両チームの指導者（代表して1名）は、自チームのベンチから審判員及び対戦する相手チームの指導者と会釈程度の挨拶を交わす

◆ベンチ内でのマスクの着用について（大会運営本部も同様）

- ・指導者・選手ともに、マスクを着用するとともに一定の間隔を空けて待機することを原則とする
- ・高温や多湿といった環境下では、十分な距離（少なくとも2 m以上）及びそれに合わせた日陰が確保できる場合には、マスクを外しても構わない
 - ※大会運営本部において、都度 WBGT 計を確認しながら、状況に応じ柔軟に判断・指導する